

## 新大学における施設整備方針について(案)

### 1 施設整備・法人化等検討委員の検討事項について

- (1) 施設整備の基本的な方向性の確認について
- (2) 新屋キャンパスの施設整備(増築・改修)箇所(案)について
- (3) 新屋キャンパスにおける施設整備(案)概要について
- (4) 他地域の施設活用について

### 2 会議開催状況について

- ・ 7月4日 第1回会議 検討事項、スケジュール概要等の確認
- ・ 7月26日 第2回会議 施設整備箇所・概要(案)の検討、整備箇所(案)視察
- ・ 8月22日 第3回会議 施設整備箇所・概要(案)の再検討

### 3 検討結果について

#### (1) 施設整備の基本的な方向性の確認について

- ① 新大学の教育研究等にかかる施設整備については、現時点のカリキュラム編制(案)、教員採用基本方針等を踏まえ、新屋キャンパスにおける整備を基本に検討を行う。

#### (2) 新屋キャンパスの施設整備(増築・改修)箇所(案)について 資料2-1 参照

##### ① 教室等について

既存施設に加え4大化に伴い新たに必要となる教室(講義室、演習室等)については、新大学のカリキュラム編制(案)、教育施設の一体化と既存施設の有効利用等を勘案し、現創作工房棟を改修し確保する。

また、予算上可能で、市民への影響等もクリアできるとすれば、より集約を図るため、現実習棟と隣接するよう工芸体験棟と創作工房棟の2棟を改修し、入れ替えることも今後検討する。

##### ② 課外活動等について

①の改修に伴い、現創作工房棟の機能の一つとなっている学生のサークル活動等の場の確保および4大化に伴う充実したキャンパスライフの支援のため、別途「サークル会館(仮称)」として学生がサークル等の課外活動に利用できる施設を、現体育館後ろの大駐車場の一部に増築することを検討する。その際、同じく現創作工房棟にある作品保管庫、倉庫を「サークル会館(仮称)」内に併設することを検討する。

##### ③ 研究室について

新大学の教員採用基本方針を勘案し、現行施設に加え必要となる教員研究室は、現研究棟(研究室)との一体性を確保するとともに現キャンパスのデザインの継承も考慮し、かつ工事での他への影響の少なさ、将来の拡張性等も踏まえ、現研究棟を南側に延伸(別棟を廊下で接続)する形で増築することを検討する。

## (3) 新屋キャンパスにおける施設整備(案)概要について

## ① 4大化に伴い必要となる主な施設 ◎設置基準上必須、○必要

	室 名	内 容 説 明
◎	教員研究室	教員増加分等のため12室以上
◎	講義室、演習室	カリキュラム増のため計4室程度必要と想定
○	学生制作室	学生の作品制作のため設置 ※準備委員会意見
○	学生共用室	サークル活動などに学生が共同で使用
○	作品保管庫、倉庫	施設規模等に応じて必要
○	その他	トイレ、冷暖房設備等(施設内容・配置に応じて)

## ② 創作工房棟改修(案)の概要 資料2-2参照

区 分	数量	面 積	備 考
講義室	1	178㎡	1F
演習室	3	435㎡	145㎡×3(1F1室、2F2室)
学生制作室	1	178㎡	1F(吹き抜け)
他		172㎡	トイレ、廊下、ミーティングルーム、給湯室等
合計		963㎡	

## ア 配慮すべき事項

- ・ 今後、コスト面および整備内容の精査が必要である。
- ・ カリキュラム編成(案)が今後精査されていくことに伴い各部屋の区分等に変更が生じたり、場合によっては新たな実習室等を別途増築する必要性が出てくる可能性がある。

## イ 工芸体験棟と創作工房棟の入れ替え(2棟改修)について

- ・ 工芸体験棟に2階の増設が必要となるほか、2棟の全面改修となることから、経費・工期の両面で負担が大きくなる。
- ・ 工芸体験棟では、各種講座が開催されており、工事期間中の代替スペースの検討が必要である。
- ・ 今後、他の施設整備も含めた施設整備全体の検討を進める中で、入れ替えの必要性、コスト面の精査、さらには必要となる工期とその間の利用者への対応などを総合的に勘案しながら、方向性を見極めることとする。

## ③ 「サークル会館(仮称)」増築(案)の概要

区 分	数量	面 積	備 考
学生共用室	1	420㎡	2F
作品保管庫	1	240㎡	1F
倉庫	1	210㎡	1F
他		100㎡	トイレ、廊下等
合計		970㎡	

#### ア 配慮すべき事項

- ・ 今後、コスト面および整備内容の精査が必要である。
- ・ カリキュラム編制(案)が精査されていくに伴い新たな実習室等を別途増築する必要性が出てきた際は、「サークル会館(仮称)」の規模を縮小して隣接地を増築箇所として検討する可能性がある。

#### ④ 研究室増築(案)の概要 資料 2－3 参照

区 分	数量	面 積	備 考
教員研究室	12	348㎡	29㎡×12室(2F 8 室、3F 4 室)
他		90㎡	廊下
合計		438㎡	

#### ア 配慮すべき事項

- ・ 今後、コスト面および整備内容の精査が必要である。

#### (4) 他地域の施設活用の検討について

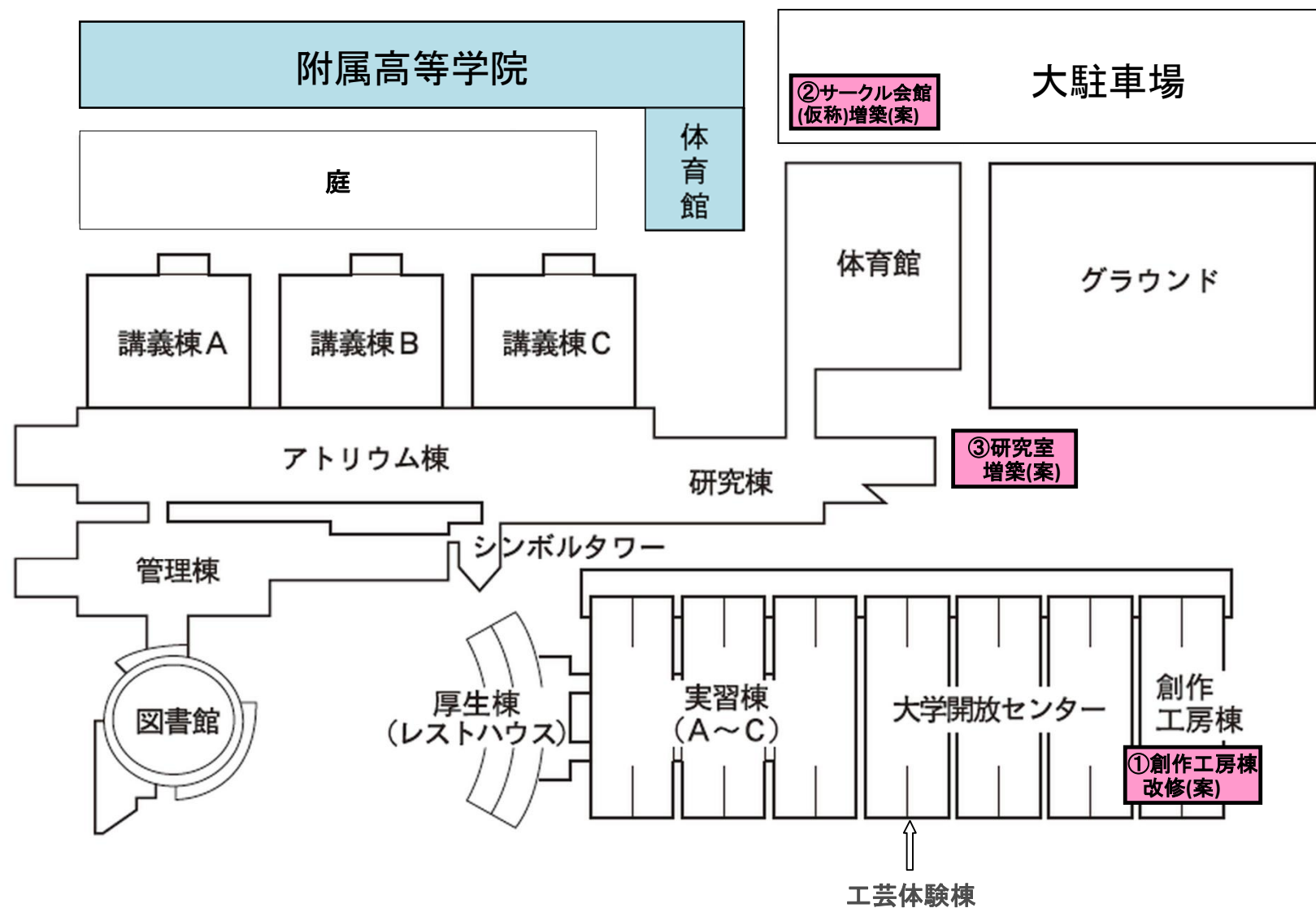
有識者委員会からの提言では、新屋キャンパスの活用を前提としつつも、他大学等との連携の観点から、「中心市街地など他地域に共同キャンパスを設けることを検討すべき」と言及していることから、中心市街地の適地へのキャンパスやサテライトキャンパス等の設置の可能性について引き続き検討していくこととする。

#### 4 今後の検討について

今後は、施設整備(案)の内容を、カリキュラム編制(案)を踏まえて、施設整備全体にかかるコストも勘案しながらさらに精査・検討し、最終的な施設整備方針(案)をとりまとめ、次回準備委員会で説明する予定である。

# 新屋キャンパス施設整備(増築・改修)箇所(案)

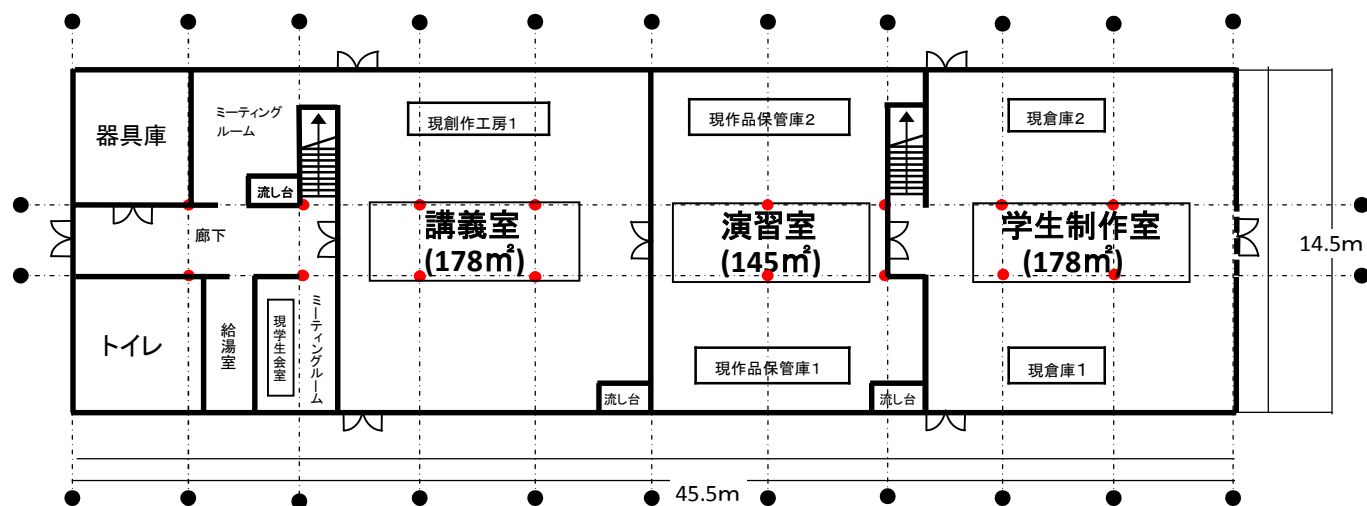
資料2-1



## 創作工房棟改修(案)

## 新屋図書館側

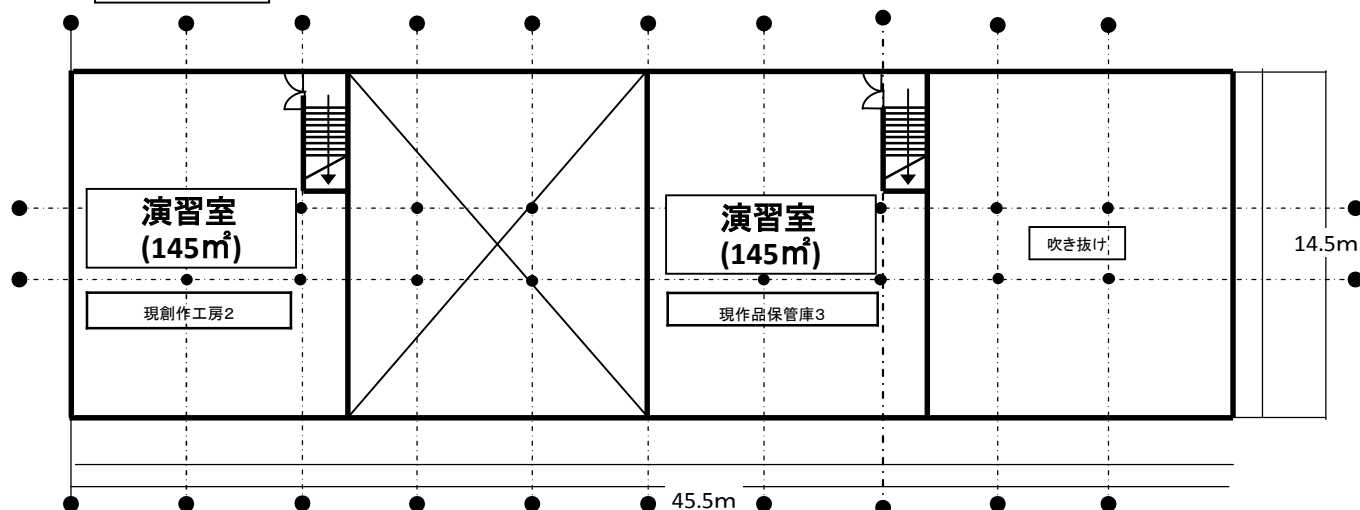
1F



グラウンド側

西中側

2F



1F  $45.5\text{m} \times 14.5\text{m} = 659.75\text{m}^2$   
 2F  $20.93\text{m} \times 14.5\text{m} = 303.49\text{m}^2$   
 合計  $963.24\text{m}^2$

# 研究室増築(案)

資料2-3

